

2024年『第21回技術講演会』プログラム

会場: 京都国際会館(ICC) 主催: 新製剤技術とエンジニアリングを考える会

| 2024年7月30日(火) | | 2024年7月31日(水) | |
|-----------------|--|-----------------|--|
| 09:20~ 09:30 | 竹内 洋文(新製剤技術とエンジニアリングを考える会 会長) 岐阜薬科大学 名誉教授、特命教授、先進製薬プロセス工学研究室 特任教授 『開会の挨拶』 | 09:30~ 10:20 | 小島 宏行 アステラス製薬株式会社 CMCディベロップメント 製剤研究所 研究所長 『アステラス製薬における製剤開発の変遷 ~過去・今・そして未来を見据えて~』 |
| 09:30~ 10:20 | Jennifer A. Maguire Director, CDER/OPQ/Office of Quality Surveillance, US Food and Drug Administration(FDA) 『CDERの品質経営成熟度プログラムの最新情報 An Update on CDER's Quality Management Maturity Program』 | 10:20~ 10:40 | Coffee Break (20分) |
| 10:20~ 10:40 | Coffee Break (20分) | 10:40~ 11:30 | 片岡 一則 公益財団法人川崎市産業振興財団・ナノ医療イノベーションセンター 副理事長・センター長 『ナノテクノロジーが拓く未来医療: 体内で薬を運び、作り、操る分子技術の開発』 |
| 10:40~ 11:30 | 平澤 大介 中外製薬工業株式会社 生産技術本部デジタルエンジニアリング部 課長 『Breaking new ground beyond the “Wall of 0.05 μg/m3” ~ISPE Facility of the Year Awards Category Winner 受賞を受けて~』 | 11:30~ 12:20 | 池浦 義典 アクセリード株式会社 代表取締役社長 『Axcelead:革新的医薬品を創出するグローバルヘルスケアプラットフォーム』 |
| 11:30~ 12:20 | Stephen Timothy Buckley Vice President, Advanced Drug Delivery, Novo Nordisk 『経口投与可能なGLP-1Rアゴニストの発見と開発 コンセプトを現実へ、そしてその先へ Discovery and development of an orally delivered GLP-1R agonist From concept to reality and beyond』 | 12:20~ 13:20 | Lunch Time (60分) |
| 12:20~ 13:20 | Lunch Time (60分) | 13:20~ 13:40 | Lunch Time (60分) |
| 13:20~ 13:40 | 一般財団法人 新製剤技術とエンジニアリング振興基金 「パーティクルデザイン賞」授賞式および「海外留学研究助成金」目録贈呈式 | 13:40~ 14:30 | Rupesh Malhotra Associate Director, GMP Operational Quality Assurance, Vertex Pharmaceuticals 『連続生産と製品リリースにおける品質と効率性の向上におけるAIの役割を探る Exploring AI's Role in Enhancing Quality and Efficiency in Continuous Manufacturing and Product Release』 |
| 13:40~ 14:30 | 第11回パーティクルデザイン賞 受賞記念講演 秋田 英万 東北大学大学院薬学研究科 教授 『RNA創薬を加速する細胞内環境応答性脂質様材料ssPalmの開発』 | 14:10~ 15:00 | Biplob Mitra Associate Director, Drug Product Development, Bristol-Myers Squibb Company 『年齢を問わない経口固形製剤、ミニ錠剤の設計と開発 Design and development of minitables, an age-agnostic oral solid dosage form.』 |
| 14:30~ 15:20 | 横山 弘和 第一三共株式会社 製薬技術本部 製剤技術研究所 注射剤研究第一グループ 専門研究員 『新規モニタリング手法使った凍結乾燥工程のスケールアップ』 | 15:00~ 15:10 | Coffee Break (10分) |
| 15:20~ 15:40 | Coffee Break (20分) | 15:10~ 16:00 | 五味 真人 塩野義製薬株式会社 研究本部 製剤研究所 サブグループ長 『エンシトレルビル フマル酸錠の製品開発』 |
| 15:40~ 16:30 | Jeremy A Bartlett Research Fellow, Pharmaceutical Sciences/Drug Product Design, Pfizer Inc. 『小児から高齢者までの患者のニーズを満たす最新の戦略と薬物送達技術の進歩 Latest strategies and drug delivery technology advancements meeting the needs of pediatric to geriatric patients.』 | 16:00~ 16:50 | 山本 剛 厚生労働省 医薬局 監視指導・麻薬対策課 室長 『薬事監視の現状と品質確保に向けた取組みについて』 |
| 16:30~ 17:20 | 藤原 英喜 武田薬品工業株式会社 グローバル マニュファクチャリング&サプライ ジャパン 光工場長 『DXを活用した生産プロセス全体の透明化とボトルネック工程集中改善による大幅増産の実現』 | 16:50~ 17:00 | 寺田 勝英(新製剤技術とエンジニアリングを考える会 運営委員) 高崎健康福祉大学薬学部 学部長 『開会の挨拶と来年度の計画について』 |
| 17:40~ 19:40 | 交流会 | | |

※プログラムは都合により一部変更の可能性がございます。